

貯蓄から投資へ ファイナンシャルプランナーがお伝えする

株式投資セミナー

参加費
無料

● 9月のセミナーでは

グラフを使いアメリカ・中国・日本・OPECの
グローバル経済指標の現状を解説し、
株式・為替についてご説明いたします。

2019年 **9月21日（土曜日）**
13:30~15:00

*要予約 お申込みは9月19日まで 定員になり次第締切り 受付は開始15分前



株式会社アイ・パートナーズフィナンシャル
セミナールーム（参加人数により3FまたはB1）

協力：株式会社アイ・パートナーズフィナンシャル
〒220-0005 横浜市西区南幸2-20-5東伸24ビル3階
ホームページ <http://aip-financial.com/>

金融商品仲介業者 関東財務局長(金仲)第314号

お申し込みは・・・電話・FAX・メールにてお願いいたします。 お問合わせ解説担当：上原

電話：045-329-7159 FAX：045-311-7133

メール：t.uehara@aip-financial.com 電話は平日のみ 9:00~17:00

※ お名前・〒ご住所・お電話番号をお知らせをお願いします。
お申込み確認後、「受付票」をご郵送いたします。当日ご持参ください。

ふりがな お名前			
ご住所	〒	—	都・県 区・市
	区・町		
TEL: Eメール	—	—	@

FAX



■株式会社アイ・パートナーズフィナンシャル 個人情報の利用目的■

ご記入いただきましたお客様の個人情報は、株式会社アイ・パートナーズフィナンシャル(以下弊社)及び関連会社のセミナー・商品サービスのご案内など、弊社の利用目的の範囲内で利用させていただきます。なお、弊社における個人情報の利用目的の詳細は弊社WEBサイト (<http://aip-financial.com/privacy/index.html>)に記載されている「個人情報保護方針」をご確認ください。

各種、**経済指標のグラフ**を見ながら マーケットの現状を確認し、「株式投資」への取り組み方をご説明するセミナーです。

米中貿易摩擦問題に対する楽観論が後退し、世界経済の減速懸念が改めて強まる中、米国においては年内の更なる利下げ観測があり長期金利は低下傾向にあります。米10年債と3カ月物との長短金利が逆転する「逆イールド」が見られ、近い将来に米国の景気後退への警戒が広がっています。リーマンショックから回復し10年続いた安定成長から、株価下落を伴う景気停滞期へ移行する可能性もあり、ここからの投資方針をどのようにするべきか検討していく必要があります。

“要注意シグナル3つ”

① 米国の長短金利が逆転

米国の長短金利が逆転しました。逆転すると景気後退を織り込み、株価が今後反落しやすい点にも注意が必要です。

② 米国中央銀行の今後の金融政策は、

今年に入り米国中央銀行が利上げを休止し米中貿易摩擦の影響で市場では更なる利下げの話も浮上する中、今後のFRBの政策判断に注目です。

③ 米中貿易摩擦の行方

中国は今年中国全国人民代表大会にて経済成長率の目標を「6~6.5%」に引き下げることを発表しました。貿易摩擦の交渉やハイテク分野の覇権もあり中国経済が世界にどのような影響を与えるかが注意が必要です。

トランプ米政権が、米中貿易摩擦が続く中、税制改革・インフラ投資・移民規制さらにイラン・北朝鮮外交まで来年の大統領選挙対策の一環としないか注視されます。

● 下げ相場に対する方策はどのようにするべきか？ 一緒に考えましょう！



解説者

株式会社アイ・パートナーズフィナンシャル

ファイナンシャルプランナー

上原 孝志

職歴： 三菱UFJモルガン・スタンレー証券
SMBC日興証券



●当セミナーにおいては個別銘柄の推奨や勧誘は一切ございません。株式・投資信託等の投資元本は保証されているものではなく、価格変動・信用・為替・流動性・カントリーリスク等のリスクを主因として、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。